

授業科目 自己表現法

【担当教員名】 本間 久文		対象学年	1	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
		○	○	○	○
【概要・一般目標：GI0】 自分自身を表現するには、「書く」と「話す」が必要であるが、そのためには「読む」ことも「聴く」ことも重要である。相手の気持ちを尊重しながら、相手に合わせて自己を表現するための手法について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. コミュニケーションに必要な「話す技術」と「書く技術」について理解し、応用できる。 2. 自分の考えをまとめて相手に伝えるために、どのように文章を表現するかについて学び、応用できる。 3. 日本語特有な話し方や敬語の使い方について実践を通して学び、応用できる。 4. 文章を読む力と、相手の話を聴く力を身につける。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	自己紹介			1	講義・演習
2	1分間スピーチ			1, 3, 4	演習
3	長所と短所・趣味と特技			1, 2	講義・演習
4	話す速度			1, 2, 3	講義・演習
5	書く技術			1, 2	講義・演習
6	言葉の連想			1, 2	講義・演習
7	作文を書く			1, 2	講義・演習
8	小論文を書く			1, 2	講義・演習
9	言葉の使い方			1, 2, 3	講義・演習
10	文章を読解する			1, 2, 3	講義・演習
11	道具としてのコミュニケーション			1, 2, 3	講義・演習
12	物語を読む			1, 3	講義・演習
13	手紙とメールの書き方			1, 2, 3	講義・演習
14	話す技術			1, 3	講義・演習
15	評論する			1, 2, 4	演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		自己表現の技法	畑山浩昭、為田英一郎、荒木晶子 他	実教出版	2013・2,000円＋税
参考書		大学生のための基礎力養成ブック	小棹理子、伊藤善隆、高橋可奈子 他	丸善出版	2012・2,000円
その他の資料		プリント			
【評価方法】 出席状況(10%)、発表内容(30%)、課題内容(60%)等によって評価する。			【履修上の留意点】 各演習では、積極的に発言し、発表することを期待する。		